

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
410022	X-13-B-2-410022	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
情報システム演習 (A分野) 2年 K4	小林 満男			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修		1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修		1年

授業目的

情報システム開発の受託者と発注者の両者が直接関与する情報システムの(超)上流工程について、手法を学ぶとともに実際に要求定義、外部(機能)設計の一部を作成することにより、具体的に情報システム開発の知識及びスキルを獲得する。

本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。

<情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を修得していること。>

<仕事の仕組みを系統的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。>

各回の授業内容

第1回

【授】SPI模擬試験(ただし、2年生後期の場合は、各研究室の説明会)
【前・後】授業前に1時間以上をかけてSPIに関して調査し、SPI問題に取り組んでおくこと

第2回

【授】ビジネス要求、ビジネス要求仕様
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第3回

【授】ビジネスフロー分析
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第4回

【授】システム構造の理解と図式表現-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第5回

【授】システム構造の理解と図式表現-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第6回

【授】情報の流れの分析(DFD)-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第7回

【授】情報の流れの分析(DFD)-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第8回

【授】入力情報の分析-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第9回

【授】入力情報の分析-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第10回

【授】蓄積情報の分析-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第11回

【授】蓄積情報の分析-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第12回

【授】リレーショナルデータベース-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第13回

【授】リレーショナルデータベース-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第14回

【授】総合演習-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第15回

【授】総合演習-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第16回

【授】実施しない

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

以下のように成績を算出する。

- ・出席と演習課題取組状況及びレポート課題により評価する。
- ・各回課題+各回レポートを100点で評価。概ね次式のような考え方で評価点を計算する。
- ・ $F(\text{演習課題、レポート課題}) = \sum(\text{各回課題} + \text{各回レポート}) / 15$

<フィードバック法>

授業中に課した課題、宿題について授業内で解答例を示す。

教科書参考書

第1回演習時にテキストを配布する。

受講に当たっての留意事項

欠席した回のレポートは、提出されても評価しない。

学習到達目標

情報システムを構築するとはどのような意味、作業があるかを理解する。
本演習によって獲得された知識・スキルにより単純化された情報システムの分析と設計の一部が行える

JABEE

(2017年度生以前)関連する学習・教育到達目標:E

【授】:授業内容【前・後】:事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年		
410022	X-13-B-2-410022	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×		
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×	
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×		
情報システム演習 (A分野) 2年 K5	桑原 悟			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×		
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×		
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修	1年		
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修	1年		

授業目的

情報システム開発の受託者と発注者の両者が直接関与する情報システムの(超)上流工程について、手法を学ぶとともに実際に要求定義、外部(機能)設計の一部を作成することにより、具体的に情報システム開発の知識及びスキルを獲得する。

本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。

<情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を修得していること。>

<仕事の仕組みを系統的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。>

各回の授業内容

第1回

【授】SPI模擬試験(ただし、2年生後期の場合は、各研究室の説明会)
【前・後】授業前に1時間以上をかけてSPIに関して調査し、SPI問題に取り組んでおくこと

第2回

【授】ビジネス要求、ビジネス要求仕様
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第3回

【授】ビジネスフロー分析
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第4回

【授】システム構造の理解と図式表現-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第5回

【授】システム構造の理解と図式表現-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第6回

【授】情報の流れの分析(DFD)-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第7回

【授】情報の流れの分析(DFD)-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第8回

【授】入力情報の分析-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第9回

【授】入力情報の分析-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第10回

【授】蓄積情報の分析-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第11回

【授】蓄積情報の分析-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第12回

【授】リレーショナルデータベース-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第13回

【授】リレーショナルデータベース-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第14回

【授】総合演習-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第15回

【授】総合演習-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第16回

【授】実施しない

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

以下のように成績を算出する。

- ・出席と演習課題取組状況及びレポート課題により評価する。
- ・各回課題+各回レポートを100点で評価。概ね次式のような考え方で評価点を計算する。
- ・ $F(\text{演習課題、レポート課題}) = \sum(\text{各回課題} + \text{各回レポート}) / 15$

<フィードバック法>

授業中に課した課題、宿題について授業内で解答例を示す。

教科書参考書

第1回演習時にテキストを配布する。

受講に当たっての留意事項

欠席した回のレポートは、提出されても評価しない。

学習到達目標

情報システムを構築するとはどのような意味、作業があるかを理解する。
本演習によって獲得された知識・スキルにより単純化された情報システムの分析と設計の一部が行える

JABEE

(2017年度生以前)関連する学習・教育到達目標:E

【授】:授業内容【前・後】:事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
410022	X-13-B-2-410022	1	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
情報システム演習 (A分野) 2年 K6	西山 茂			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	必修		1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	必修		1年

授業目的

情報システム開発の受託者と発注者の両者が直接関与する情報システムの(超)上流工程について、手法を学ぶとともに実際に要求定義、外部(機能)設計の一部を作成することにより、具体的に情報システム開発の知識及びスキルを獲得する。

本授業は、以下のディプロマポリシーに関連する。

<情報システム学について理解し、情報システム領域の基本的な専門技術を修得していること。>

<仕事の仕組みを系統的に考え、データを重視した論理的な判断ができること。>

各回の授業内容

第1回

【授】SPI模擬試験(ただし、2年生後期の場合は、各研究室の説明会)
【前・後】授業前に1時間以上をかけてSPIに関して調査し、SPI問題に取り組んでおくこと

第2回

【授】ビジネス要求、ビジネス要求仕様
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第3回

【授】ビジネスフロー分析
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第4回

【授】システム構造の理解と図式表現-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第5回

【授】システム構造の理解と図式表現-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第6回

【授】情報の流れの分析(DFD)-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第7回

【授】情報の流れの分析(DFD)-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第8回

【授】入力情報の分析-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第9回

【授】入力情報の分析-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第10回

【授】蓄積情報の分析-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第11回

【授】蓄積情報の分析-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第12回

【授】リレーショナルデータベース-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第13回

【授】リレーショナルデータベース-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第14回

【授】総合演習-1
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第15回

【授】総合演習-2
【前・後】教科書による事前課題内容把握、事後の課題復習各30分以上

第16回

【授】実施しない

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

以下のように成績を算出する。

- ・出席と演習課題取組状況及びレポート課題により評価する。
- ・各回課題+各回レポートを100点で評価。概ね次式のような考え方で評価点を計算する。
- ・ $F(\text{演習課題、レポート課題}) = \sum(\text{各回課題} + \text{各回レポート}) / 15$

<フィードバック法>

授業中に課した課題、宿題について授業内で解答例を示す。

教科書参考書

第1回演習時にテキストを配布する。

受講に当たっての留意事項

欠席した回のレポートは、提出されても評価しない。

学習到達目標

情報システムを構築するとはどのような意味、作業があるかを理解する。
本演習によって獲得された知識・スキルにより単純化された情報システムの分析と設計の一部が行える

JABEE

(2017年度生以前)関連する学習・教育到達目標:E

【授】:授業内容【前・後】:事前・事後学習